

Coca-Cola
zero.

Suzuka 8 hours

バイク業界活性化に向けた
活動資金支援のお願い

～未来のバイク業界を牽引する若者達へ～



Favorite
FAVORITE FACTORY
Factory

1. ご挨拶

私達の活動に耳を傾けて頂き、誠にありがとうございます。

私達は豊中市清風荘という場所で平素よりバイクショップを営みながら、バイク業界の再活性化を軸に様々な活動を行っております。

昨年より、未来のバイク業界の陣頭に立ち、牽引する若者を育てるべく、業界に触れる機会を設ける為、中学生の職業訓練等も行っております。

日々の地道な活動と並行して『Team Favorite Factory』を設立し、2014年度より『**鈴鹿8耐**』というレースで世界に挑戦しております。

参戦への経緯としては、業界に飛び込んだ頃からの『**夢**』でありました。多くの方にご助力頂き、夢を実現致しましたが、更なる高みを目指し、2019年度大会にて『**表彰台獲得**』という夢を再設定致しました。

街角の小さなバイクショップが世界に挑戦する事を通して、**夢を持つ事、夢を実現する素晴らしさを身を以て若者達へ示したい**と考えております。

今日、情報が錯綜し、不確かな情報で溢れかえっている中においても、自身の目で見て、自身の耳で聞き、感じ取る事で自信を持って夢を掲げ、実現させる若者が一人でも多く現れる様、全力で世界に挑戦する所存です。

願わくば、私達に影響を受けた若者達の中から、バイク業界の未来で陣頭に立って業界を牽引していく方が現れてくれればと思っております。

しかし、私達の目指す世界の壁は大変に高く、皆様の後押しが必要となりますので、何卒、ご助力を頂けます様、宜しくお願い致します。



Team Favorite Factory
代表 三井 晋一郎

2. バイクレースである理由

- **世界最高峰でありながら認知度が低い事**
世界の舞台で日本製のバイクは常にトップを走り続けており、数多くのレースで優勝を勝ち取っている事から、日本製のバイクの性能は世界随一と世界から認知されているが、日本での認知度は年々低下している実状を真摯に受け留め、日本が世界に誇る素晴らしいバイク文化を守る為、バイク業界を活性化させたいと考えた為であります。
- **表彰台に日本人が立てない事**
上述の通り、バイクとしては輝かしい結果を残していますが、日本人ライダーが表彰台に立つ機会は多くありません。
“モータースポーツ”という言葉通り、レースはスポーツです。しかし、野球やサッカーといった一般的なスポーツと異なり、ライダーに関しては、体格面でのハンデはありません。
「では何故、日本人が活躍出来ないのか？」という疑問にライダーを目指す若者が少ない事、少ない理由としては、認知度の低さが根本的な要因ではないかと考えました。
私達がレース参戦に向け、様々なPR活動を行っていく事、レースで活躍する事でバイクやレースの認知度を向上させ、若者への窓口を拓ける事が出来ると考えた為であります。
- **バイクが好きである事**
ただ単純に私達はバイクが好きです。
風を浴びて走る爽快感、マシンと一体となって走る楽しさ等、様々な魅力を持つバイクに一人でも多くの方に触れて欲しいと考えた為であります。

3. 鈴鹿8耐とは

<正式名称>

『FIM世界耐久選手権シリーズ
鈴鹿8時間耐久ロードレース』



<イベント概要>

1978年より鈴鹿サーキットで開催され、次回、第40回大会を迎える日本最大且つ、伝統あるバイクレースであり、“真夏の8時間”という長きに渡る時間を2名または、3名のライダーで走り続け、周回数を競う非常に過酷なレースとなっております。

長時間にも関わらずアタック(ベストタイムを目指す)し続ける事から、耐久スプリントレースとも云われている為、完走(※)する事 자체가表彰対象となる、非常に厳しいレースとなっております。

日本開催の世界選手権は『MotoGP』と本レースのみとなっており、本レースにおける順位＝世界ランクである事から、世界各国からライダーが参戦し、世界中のメディアから注目されています。

4日間に渡る開催期間では、決勝日以外においても前夜祭にて、ナイトピットウォーク、バイクパレード等、様々なイベントが行われ、来場者とレースの距離が非常に近いイベントとなっております。

この4日間を『8耐ウィーク』と称して開催されている『お祭り』であり、ロードレース界における夏の風物詩として、国内有数の集客を誇るモータースポーツイベントとなっております。



※完走条件

- ・8時間経過後、レース終了の証となるチェッカーフラッグを受ける事
- ・トップチームの周回数の75%以上の周回数を走行している事

4. 実績



<Team Favorite Factory>

- 2016年(第39回)
使用マシン：YAMAHA YZF-R1
レース結果：54位(全68台、完走54台)
※3回転倒での完走は弊チームのみ
- 2015年(第38回)
使用マシン：SUZUKI GSX-R1000
レース結果：予選敗退
- 2014年(第37回)
[完全自社チーム・制作マシンでの初参戦](#)
使用マシン：SUZUKI GSX-R1000
レース結果：53位(全70台、完走58台)

<自社チーム以外>

- 2013年(第36回)
『HAMAMATSU 8耐 TEAM』:チーフメカニックとして参加
使用マシン：YAMAHA YZF-R1
レース結果：34位(全63台、完走50台)
- 2004年(第27回) ※過去大会における最高順位
『TEAM YOSHIHARU』:メカニックとして参加
使用マシン：HONDA CBR1000RR
レース結果：6位(全71台、完走48台)

5. 目標

• 目標

6カ年計画における各年度の目標順位

2014年度(第37回) : 完走 『達成』

2015年度(第38回) : 40位以内 . . . 『未達』

2016年度(第39回) : 30位以内 . . . 『未達』

2017年度(第40回) : 20位以内

2018年度(第41回) : 10位以内

2019年度(第42回) : 3位以内

2年連続で目標順位未達という結果から、
チーム設立当初に立てた5カ年計画を
6カ年での計画に変更しております。

3年で得た様々な経験を考慮した上で、
十分目指せる順位と自負しております。



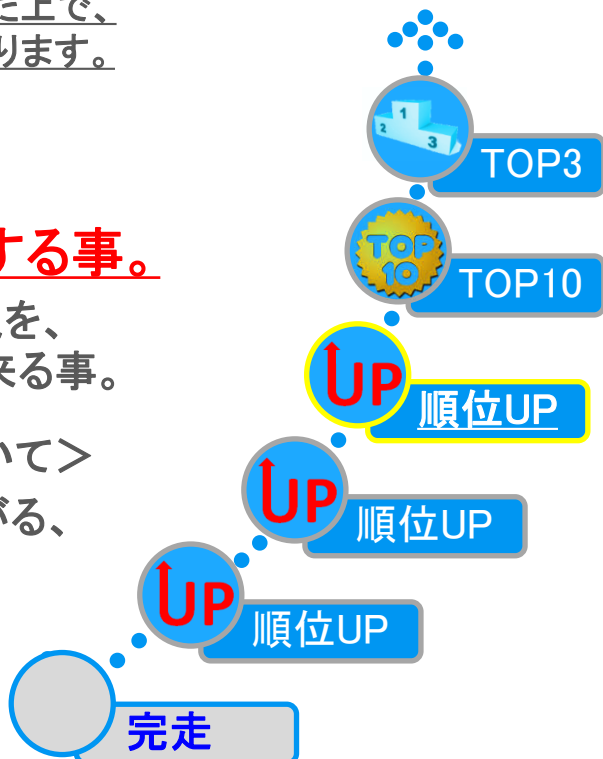
• 達成基準

目標順位を着実に獲得する事。

更には、鈴鹿8耐決勝の花火を、
協賛各位とご一緒に観覧出来る事。

<鈴鹿8耐決勝の花火について>

トップ3発表直後に打ち上がる、
素晴らしい花火であり、
鈴鹿8耐決勝における
風物詩となっております。



6. ご依頼事項

• 支援金のご提供

弊チームは、多くの方に先ずはバイクの事を知って頂く為にも、バイク関連イベントに限らず様々なイベントに参加しております。例えば、ウェイクボード大会や文化祭等に参加しておりますが、イベント出展費用(ブース利用費、車両運搬費等)を始めとして、活動資金が不足しており、PR活動を進める事が出来ません。現状をご理解頂き、支援金のご提供を頂きたく存じております。

• 支援グッズのご購入

企業として、『会社のお金を使う』という事は大変難しい事であり、メリット(費用対効果)を考慮される事は重々理解しております。御社社員の方々に対して弊チームの活動、思いをご周知頂き、支援グッズのご購入を促して頂きたく存じております。

<支援グッズ>

スポーツタオル、チームシャツ等

• PR可能な場所のご提供

一口に支援金のご提供や、支援グッズのご購入と申しましても、見た事も無い、存在自体を知らない弊チームに肩入れは難しいと考えておりますので、PR可能な場所として御社の催事等にご誘致頂き、PR可能な場所をご提供頂きたく存じております。

• SNS等でのフォロー

今日において、若年層を始めとする認知度向上につきましては、SNSでのPRが必須となりますので、御社SNS、御社社員の方々からのSNSでのフォローをお願いいたく存じております。

7. お問い合わせ

店舗『Favorite Factory』
(フェイバリットファクトリー)

<住所>

大阪府豊中市清風荘1丁目15-6

<TEL/FAX>

06-4866-6000/06-4866-6030

<Mail>

321@favorite-factory.com



<URL>

<http://favorite-factory.com>



<特設ページ>

<http://favorite-factory.com/8tai>



店長兼レースクイーン「まお」
がお待ちしております。